

令和5年3月末～5月初めにGoogleフォームで実施した保護者アンケート  
**PTA会員アンケート調査「課題や悩み」自由記述**

「PTAふくしま」第121号の発行にあたり、保護者の方々にPTA活動における課題や悩みをアンケート（Webアンケート）でお尋ねしました。

寄せられた課題や悩みは、役員選出のこと、負担や多忙に関すること、会員相互の共通理解、PTA組織運営やPTAの存在意義、少子化や家庭数の減少、任意加入のこと、コロナ禍や、学校の教育活動、不登校、部活動に関する事など多岐にわたってありました。

アンケートの回答にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。（回答者総数 332名）

～ 6月2日開催の中小懇談会の懇談テーマの資料としても活用させていただきました。 ～

連番	※ プライバシーに関わる表現や内容、個別の事案に関する要望等については、掲載できませんでしたのでご了承ください。
1	役員を引き受けて頂ける方が減ってきている
2	PTA役員や各委員長の決定について
3	毎年、役員を決めるのに苦労する。
4	次期役員選出の方法
5	役員の成り手がいない
6	役員をやりたい人が中々手を挙げられない
7	役員を選考
8	PTA役員を決める際の人選問題
9	役員をやりたいがらない保護者が多い（役員任せになっているからだと思いますが）
10	役員の負担が大きい
11	役員を引き受けてくれる人が少ない
12	会長を決めるのが難しい
13	各人、6年間に1回は学級委員をやってもらうとの建前にはいるが、集計しているわけではなく、強制もできていない。
14	会長をはじめ、本部役員になる人がいない。
15	役員の決め方
16	PTA役員・委員を決める時の悩み
17	PTA役員になってくれる人はいるが会長を引き受けてくれる人がなかなかいない。
18	学級PTA役員選出の難しさ
19	最近は役員になっていただける親が少なくなってきました。できるだけやってくれる方を探したいのですが、コロナ禍で他の保護者と会う機会も減り、声かけも難しくなりました。
20	PTA本部役員選出決定に対して本部役員は任期のしぼりがあり、なかなか引き受けてくれる方が少なく、会長候補は難航します。本部役員が中心となり候補を1年間かけて交渉し、次年度には役員を決めなければならないので、誰もやってくれない時が来てもおかしくないと感じています。現在は現本部役員が信頼ある方を紹介というカタチで選出しています。立候補にしてもいいのではないかと考えます。信頼性が重要な役目のため躊躇する部分があります。
21	PTA役員及び専門委員会代表の選び方
22	役員決め(決まらない)
23	役員決定方法について
24	PTA役員が決まらない。
25	長年、同じ人が役員をやってる、やる人がいないのでなかなか決められない
26	役員について、敬遠されがちなのにやりたい人が遠慮してしまう傾向がある
27	共働きしている両親が普通の時代でPTA役員が負担が大きい！
28	役員をやってくれる方を探す大変さ
29	役員を決めるときに時間がかかる
30	PTA役員・委員を決める時の悩み
31	PTA役員の決定方法について、知り合い伝いで選出は悩みの種。
32	毎年役員決めが難航する
33	PTAを自分が辞めたい時に他に人がいない事。（辞めるなら他の人を見つけてからになるのがつらい）
34	PTA役員のみ手不足
35	PTA役員を断られる。会員が消極的。
36	各種委員会の委員長を選出際にいつも時間が掛かる。
37	次の役員を決める際に、抜ける役員が次を探さなければいけないこと
38	本部役員のみ手不足
39	PTAの役員選出方法
40	PTA役員・委員を決める時の悩み
41	PTA役員に選出など
42	地域の子供たちの減少、世帯の減少、そもそも共働きで協力できないということもあり、役員を募っても難しいのが現状。現役員の伝手に頼らざるおえない状況。特にPTA役員のイメージが『大変』というイメージが強いようです。
43	PTA役員を選考
44	PTA役員選出については、本部は人との関わりでなんとか集まり、役員は未経験者が発生しないように指名し現在まで成立しているので、継続していけば良いと思います。教員と親が協力して行う色々な行事はとても良いことなので、PTAという存在は継続していきたいです。

45	PTA役員選任…PTAはブラックであるとあまりにも誤解されている。
46	みんな忙しいと思うが役員になってくれる方が少なくなっている
47	参加者が少なく、何度も同じ方々が役員なる。最終学年で役員やると、点数になると考える保護者がいる
48	児童数が減り、役員決めが大変。
49	次期本部役員がなかなか決まらず、毎年苦労している。
50	次期役員さんを見つけてお願いするのが大変。 全く知らない方にはたのみずらい。
51	次年度役員の選出が前に比べると楽になってきてはいるが、協力していただける人が減ってきている。対策を今のうちにしていきたい。
52	執行部はじめ、立候補されたい方がなかなかいない。
53	執行部や学年委員になってくれる方がいない。今、共働きの多いのにも関わらず、皆忙しいのは同じだが、仕事を言い訳にして協力してくれない。不満ばかり言われて困ることもある。
54	執行部役員がなかなか決まらない
55	小規模学校の役員決め
56	新しい人を探すのが大変です
57	新役員選考にあたり具体的な選考手順がなく会長一任になってしまい、継続的な発展が難しいと感じている
58	保護者の数が少なく役員を決める際に苦労する
59	本校のPTA会長選出は地区のローテーションで決まるが、人数が少ない地域からの選出は無し。正直不平等と思う。しかも会長は2年任期+選出方法は各地域の子供会会長が地域人員に説明して選出。 正直不平等さを感じるし、都度会社を休まないと行けない場合などは、収入に変動が生じるので(残業代等含む)せめて1年にして欲しい。令和に入ってもまだこのやり方なのか？ ただ、自分の子供が大変お世話になっているので、先生方に直接言えないのが悩みです。
60	本部役員選出のやり方、お願いの仕方。
61	毎回決まった方の参加
62	毎年役員をやる人が決まっている。 新しい人たちにもやってほしい。
63	役員・委員の選出について
64	役員が決まらない。
65	役員の後任を探すのに苦労しています。父親の参加を促したいのですが、断られることが多いです。
66	役員を引き受けることには問題ないが、奉仕作業などの学校活動に参加してくれる家庭が少なく、参加している家庭だけが大変
67	役員を快く引き受けてくださるような人がいない事
68	役員を決めるときの対応
69	役員を決める際、「仕事してるので…」が決まり文句。みんなしているのに…
70	役員全てを公選にて決めるべき。
71	役員選出の課題
72	地区委員長、各委員会の決定方法PTA役員を先に決めないと、この決定が後手後手になる。
73	委員会の委員長を決める時
74	本部役員もなかなか引き受けてくれる人がいない
75	選考のタイミング
76	役員を選出
77	PTA役員のもめごとが、ある事。
78	今後、役員不足にならないかという不安
79	会議が多い(学校外も含め)
80	他の地区との交流、親睦
81	子供が多い学校と子供の少ない学校のPTA役員や行事が負担が違いすぎる
82	共働きの増えているので、なかなか時間がない保護者が多い
83	忙しくて活動に参加できない
84	仕事との両立が大変に思う
85	日中の活動による拘束時間により仕事に影響する
86	各種研究会等での人数集めに苦慮している
87	皆が毎年、小中で2~3件の役員を掛け持ちの状況。
88	少ないPTA役員で奉仕作業を行うので終わりが見えなくなってくる
89	少子化で、いろいろな役を重複するケースが増えている(簡素化が必要)
90	子供の数が少なく6年間役員をやってます。やらない人はやらないので、不公平
91	全国大会等の研修の動員の強制について
92	運動会や学習発表会などでの準備係が全員参加になってしまう
93	協力はしたいですが参加する機会や仕事が多いと、やはり負担は大きい
94	活動に時間を割ける保護者が少ない
95	不公平感
96	実家庭が少なく負担が大きい
97	出身小学校によっては、毎年の様に役員をやらざるをえない仕組みになっている。一度も役員をやらないで卒業する人もいるので、不平等だという声が上がっている。
98	PTA業務の効率化。単純に削除すると、協力できる人間関係が希薄になるし、コロナ禍前に戻せば、業務が多くなる。匙加減を慎重に検討している。
99	各活動への参加者が少ないこと
100	関わる人が決まってしまい、いつも同じ人になること。
101	共働きの多いなか、PTA役員はかなりの負担になっていると思います。

102	やる人が決まってしまう。
103	子供が少ない地区なので、毎年何かしらの役がある。子供が多い地区の方はPTA活動に関わらないでいる方もいる。
104	児童世帯が少人数のため、役員の重複になる
105	平日の活動が多く、仕事を休まなければいけないこと
106	平日の講演会等行事に参加するために仕事を休まなくてはならない
107	どうしても引き受けるのが難しい仕事がある
108	PTA活動は、子供達のために行っている事、と思っているが、親がやらされていると感じている人に認識を変えてもらうのは難しい。
109	なんとなく大変そうなイメージだからと参加しない人がいる気がする
110	毎回の委員会の内容が軽く、仕事を休んでまで集まる意味がない
111	仕事をしているとどうしても参加出来ない事があり、もっと参加できる環境にしてほしい。
112	平日の日中の業務はやはり限られた人になってしまうため、負担が大きいです。なおかつ、活動を理解し業務を行わなければならないので、子育て、仕事をしながらの家庭には負担が大きすぎます。
113	平日休まないといけないことが多い
114	保護者の負担を減らすため、専門委員会の廃止または縮小に向けて活動している。無駄なものは省く。講演会なんぞやらなくて結構。いまのPTAは、子どものためではなく、親の見栄の為の会ですか？
115	ベルマークの継続体制。今年度はボランティアで活動している。来年度は、PTA専門委員会への組み入れか、代表がいなくなれば廃止か。今、回収協力が増えている、ボランティアスタッフも多いが、ボランティアの代表を希望する方が少ない。活動が専門知識がある程度必要なので継続体制を検討中。
116	非協力的な保護者の意識改革
117	保護者間の意識のズレ
118	PTAの活動をなかなか理解してもらえない（一部の保護者ですが）
119	PTA会員さんが、活動参加に対し、消極的なところ
120	協力体制に差がある
121	保護者間の意識の差が大きすぎる。その差を大きな問題にしてしまい、ときどきで調整や保護者間の課題解決に終了してしまう。
122	3年間一度も役員をやらずにいる人の方が多い。そういう方は2人目以降やらずに3年間終わっている。加入拒否をしてもしなくても子供への対応が変わらないなら、役員を引き受ける方が負担が多いのでは??と考えてしまう。
123	PTAの面白さをいかに伝えるか
124	アンケート調査を行っても回答が少ない。
125	どのように活動内容をPTA全体に伝えるかを苦労する。
126	PTA活動に出席しない父兄がいる。
127	PTA活動に協力的でない家庭が少なからずあること
128	活動に対する意思低下
129	保護者同士の考え方の違い
130	PTA活動(教育講演会やレク大会など)に積極的に参加する家庭が少ない
131	PTAに対する考えの違い
132	授業参観が時間差開催でもあり、その後のPTA総会の出席者がとても少ない。（市内他学校のように委任状提出制にしてはどうか）
133	前年度の引き継ぎが上手く出来ず情報が少ない。
134	先生、友人、保護者とのコミュニケーション
135	各種お知らせや出欠確認方法とペーパーレス化について
136	活発な議論がある充実した活動にしたいが、テーマ選びが難しい
137	個人情報の管理など気を配らなければならないことが多い
138	楽しく活動したいがそこまで役員全体に意欲がなく盛り上げ方がわからない。
139	PTAの組織体制が今の時代にあっていない
140	みなさん働いている中で活動しているため、PTA運営をどれだけ負担少なくすすめていけるか。
141	PTAの必要性
142	保護者自身が参加しやすいPTAにするためにはどうしたらいいのか。
143	学校行事 委員会活動に参加する意味合いを周知不足
144	活動の意義が分からない。
145	現時代におけるPTAの存在意義について
146	今や共働きも多いこの時代に仕事を休んでまでPTA活動に参加しなくてはならないのは、誰もPTA会長をやりたがらないのは納得である。
147	親の交流がない
148	昔と違い、今はほとんどのお母さん方が仕事をしているので、このままのPTAの在り方ではやってくれる方がどんどんいなくなると思います。簡略化できるところはして、なるべく保護者の負担にならないような活動をしないとけないと思います。思春期セミナーとか必要ですか？いやいや出席して何か得られますか？
149	戦後に出来たPTA組織及び活動だと思うので、共働き世帯や核家族、家庭環境などの変化から、委員会組織や内容、役員数の見直しが必要な時期にきていると感じる。
150	組織の存在意義
151	時代に合わせてPTAも柔軟に変えていく必要を感じる。
152	保護者とPTAの関わり方
153	有りますが、言葉には出しません。新しい事例の紹介は誰かの助けになるかもしれないので、積極的な公開はお願いします。

154	PTAと町内会との関係 地域の敬老会への参加等は本当に必要か？等
155	形骸化
156	前例踏襲主義
157	3年間の縛りを軽減していく 1年では何もわからず過ぎてしまうのでよくなが、 2年の縛りでも問題ないのではないかと感じています。
158	学校行事やPTA行事の参加ボランティア化について
159	PTA役員と学校側と情報共有のありかた。
160	活動の廃止や縮小に消極的
161	良くとらえれば同じ人が何年もPTA役員をやっている部分もあるが、悪くとらえれば同じ人が続いて幅広い人達の考えが役員に反映されていない。
162	「PTAの役員を表彰すること」の無意味さ。経費の無駄。もっと生徒のために会費を有効活用することが大事
163	無駄な会議が多い
164	PTA活動の意味を理解できない
165	事業が形骸化
166	会費の運用について
167	若い人で運営しても良いと思う
168	意味がないから、委員会を解散する方向性を打ち出したが、全員から賛同を得られるかわからない
169	連Pの球技大会
170	もっと気軽に参加や活動できるようになれば良い
171	いかにして持続可能な団体としていくかという課題
172	県PTAの加入への意義
173	男親の参加が少なく、集まりには母親がほとんど…どうにかしたい。
174	組織の改革が非常に困難
175	時代遅れ
176	県P、郡Pなどの行事が慣習にとらわれすぎており、時代の変化に対応できていない。考え方が古すぎる。
177	お金を集めることが、存在意義となっている。
178	必要性が明確に知られてない
179	今後PTA活動が継続ない活動がありそうである
180	所属している学校のみPTA活動でいいと思う
181	活動や事業の効率化
182	PTAそのものが、必要ないと思っている父兄がいる事。
183	地域と学校の連携
184	地域の方との関わりをどの様にしていったらいいかわからない
185	地域の高齢化
186	コロナ禍での活動縮小で地域住民との繋がり縮小
187	PTA活動と称した本末転倒な活動。特に小規模校でありがちかと思いますが、PTA＝協力を旗に地域の活動もイコールのような空気になってしまう。地域性の問題ではあるがPTAが地域活動の入口の実態。各家庭の熱量差を認め合う空気作りも必要な時代になっていると思う。
188	学校の統合によるPTA役員選出、体制
189	実家庭数が少ない為、活動が難しくなっている
190	少子化で児童数が減り、やる人がいない。
191	少子化のためおのずとPTAも少ないので当て職になっている事。近い将来はPTA1人で2役3役を行うようになると思います
192	児童数の減少
193	家庭の減少に歯止めがかからずPTAというより学校存続自体が危ない気がする
194	全校生徒の数が少ないためPTAの活動の役割が多い(負担が多い)
195	会員数の減少。役員がそもそも足りない
196	会員数減少
197	子供の人数も減ってきていて、家庭数も減ってきているので、毎年何かした役員をしないといけな。
198	実家庭の減少
199	実家庭の減少でPTA会員が少ない
200	人員の少なさ
201	人員確保
202	児童生徒減による会員数減
203	児童生徒数減少で、PTA役員、委員を各地区から選出できない。
204	地域の子どもの数が減り世帯数も減りPTAへの関心度も減っていている
205	児童生徒数の減少に伴った活動方法
206	少子化による世帯数の減少
207	年々児童生徒が減り、人数が少なくなっている
208	保護者減少に伴うPTA活動の見直し
209	児童生徒数が少ないので色々な活動が出来なくなってきています。もっと柔軟に学校の統廃合をするなどなぜ出来ないのか疑問です。
210	会員の確保
211	今後、未加入家庭が増えたときの対応
212	加入は強制ではないはずなのに、入学と同時に入会となっているところ

213	PTA加入拒否の保護者への対応
214	加入拒否できるならしたい
215	加入の自由をどう扱えば良いか。
216	PTA加入拒否の保護者の対応
217	半ば強制的に会員にするPTAと学校の体質
218	PTAに加入したくない保護者に対して理由を聞いて、学校側が解決して、理解を得られれば良い。また、活動内容を精査して、必要最小限にしてなおかつ、新しい活動方法を提案して実施して、ネガティブなイメージを無くす宣伝が必要かと思う。
219	コロナ禍における学校行事やPTA行事の実施方法について
220	コロナ禍での活動制限によるコミュニケーション不足により役員決めに時間がかかる。
221	コロナ禍での保護者間のつながりの希薄化
222	コロナ禍で保護者の横の繋がりがなくなってしまい、推薦がしづらくなってしまった。
223	コロナ明けでPTA活動も改革のチャンスと捉え、活動を進めていく。
224	コロナで活動が無かったことで、学校内でPTA活動方法をご存知な方がほぼいない。
225	コロナ禍で、なかなか活動が出来なかったこと。
226	コロナ禍で、学校行事への参加の仕方が変わり、保護者の横の繋がりが薄くなった。
227	コロナ禍でPTA活動や学校行事があまり行われなかった事で子どもの同級生の顔や名前 その保護者がよく分からない他の学年の先生や教職員の名前と顔もよく解らないです
228	コロナ禍で学校行事の縮小もありPTA活動ができない事。
229	コロナ禍で活動できず、子供と保護者の関わりがもてない
230	コロナ禍を過ごし、元あった体制、行事等に戻そうとしているが、コロナ禍を過ごした心配からか、もし感染が広がったら…という不安からなかなか元の状態に戻せないでいる。
231	コロナ前のPTAの活動をどこまで戻すか
232	コロナ禍で失われた3年間の活動を、もう一度復活させるのがやり方が分からなく、不安です。
233	コロナ化により、コロナ以前にしていたことを知る保護者が少ない。
234	コロナで3年間活動が止まってしまった。委員会活動等、コロナ前の経験者が少なくなっており、スムーズに再開出来なくなっている。
235	コロナによる学校行事の関わり方
236	コロナ禍で行事の短縮化になり、良いこともあれば寂しく思うところもあります。時代にあった行事の開催を今後考えていかなければならない時期にきているのかと、思います。
237	コロナあけて、どこまで再開になるのかが、わからない
238	アフターコロナの中でどのようなことが出来るか、コロナ前のことを知っている人がほとんどいないので、負担軽減のPTA活動を目指したい。どこまでを復活して、どこまでを無くしていくかを取捨選択していくことが、課題かと思っています
239	PTA活動がコロナ禍時期に減退してしまい戻すのが難しい
240	コロナ禍により、学校行事の中止が相次いだのは仕方がないが、ただ中止するだけではなく、代替案などをもっとPTAと相談して欲しい。
241	コロナ禍になり、先生や保護者同士がわかりづらくなった。これから、活動していくことで課題が解決されていけば良い。
242	コロナ禍でできなかった活動に係るノウハウの伝承
243	コロナ禍で学校行事自体に変化があり、また少子化でそもそもの生徒数も減っている中で、役員数が変わらず、一部保護者に負担が大きい
244	PTA活動がコロナで見えず、理解されづらい
245	教師の働き方改革を理由に、こころばかりに色々な伝統行事などを廃止する流れになっている
246	学校の統合による子供たちの心のケア
247	学校の人数が増えるのは喜ばしい事ではあるが、不登校児が増えるのは問題である、学校でのカウンセラーの増加や専門スタッフを置くなど市や県の教育委員会単位で考えて頂きたい。
248	学校が積極的に協力してほしいことを提示してくれるのでとても助かる
249	活動内の教員と保護者の権限の境界線
250	支援学級対象以外の疾患を抱える子どもへのサポートの少なさ
251	先生も少なく負担が大きい
252	保護者と教師の会であるが、お互い意思疎通がとれない。
253	保護者と先生との交流がない
254	PTAの意見が、学校経営にどの程度活かされるのかが不明である
255	学校、先生、児童、生徒、保護者との連携、関わり
256	インクルーシブ教育への教員の理解不足
257	学校と地域との繋がりを深める為にはどんなことに取り組むべきか、
258	現状 保護者と教職員との繋がりが薄い
259	職員の人事異動やPTA役員の出入りなどで仕事内容をしっかり分かる人がいない。
260	SNSによる児童間トラブル
261	勉強したい、勉強できないから塾に行かせたい。けど、金銭的余裕がないから行かせてあげられない。結構います。学校に寄っては、長期休みに学校で勉強を教えてくれる学校もあります。中3受験生だけでも、取り組んで欲しいです。
262	SNS関連に伴うリスクは子ども達に本当に理解されているのか
263	学校がつまらないから行かない。担任が嫌いだから行かない。今はいじめが原因だけじゃない不登校問題。
264	先生方の働き方改革の中で、会議等を夜行うことが心苦しい時がある
265	不登校、いじめ問題への対応が遅い。学校に話をしてもかわされることもある。
266	不登校は増えているが学校の対応が後手。
267	不登校問題への対応

268	不登校問題への対応
269	不登校児については、家族指導や本人のカウンセリングなど、専門家をフルに活用して、根本的解決をするべき。また、登校スタイルを多様化し、オンラインなどでも勉強したり、人とのコミュニティを養えるシステムを提供するべきと思う。
270	不登校などの、対応について、もしかしたら、PTAも手助けが出来るのではないかと
271	不登校問題への対応
272	こども園小中と同じグループで役員になっていることが多い。
273	部活動の地域移行は、賛成。子供は、住む学区で中学校を指定されるので、部活動の選択肢が少ない。各中学校合同やスポ少やクラブチームで、中体連や新人戦に望むことがフェアだと思う。中学校の部活動では、各学校で指導力や活動補助金の格差もある。そのため、実際の住所を偽って報告し学区外の中学校へ通い、部活動をより有利に行う学生が少なくない。学区外へ通いきれなく学区内の中学校で思うように部活動を出来ない学生からしたら、中体連や新人戦自体が不公平と感じてしまう。中学校部活動を地域移行するに当たって、決められた試合に必要な金額の負担などを、公費でどれくらいするかなど、きちんと決めると良い。
274	現在、息子にスポーツ少年団でスポーツをさせているが、中学校に進学した時に部活動として、継続してそのスポーツをさせたい。2～3年後には部活動の受け皿はどうなっているのか？中学生はいろいろな意味で部活をさせた方がよい。
275	部活動の地域移行
276	中学校の部活動について 生徒数の減少により団体競技ができなくなってきている。 部活動の選択肢が少ない。
277	部活動の地域移行については外部指導者の存在が課題になるとおもう。
278	小中学校の部活動の地域移行については、平日の活動をどうするかや、顧問との連携をどのようにするか、まだ、保護者に周知が徹底されていない。保護者の賛同を得ての活動になると思うので、しっかり周知していただきたい。
279	人数が少なく、部活動の選択肢がない。いやいや学校からの強制で入っても、向上心も連帯感も生まれない。この事を学校側がどう理解しているのかも分からない。
280	部活の地域移行について。地域移行自体は悪い事ではないと考えていますが、指導者については厳選が必要かと。技術的な指導はもちろんとして、そのアプローチを間違わない指導者を迎えるか。昨今の体罰問題、直接暴力を振るわなくても指導者の考え・性格によっては暴力相当の指導になりうる危険性を孕んでいる。大人の熱が入りすぎて勝利主義に走りすぎ小学生段階で過度な練習から怪我をして、本格的な競技に入る高校になる頃にはボロボロになって競技にならない子も見てきました。地域移行をしてもしくは教員の教職者としての目は必要だと思います。
281	部活動の地域移行
282	上の子ですが、中学校部活地域移行で子ども達の部活に対する温度差を感じる。(土日地域でやっている子と平日しかやらない子の温度差、試合に対してのやる気の温度差など)